



今月の一枚

タケノコ掘りの前に少しだけ花祭り（4月11日、順慶寺境内にて 岡川経康氏撮影）

# 順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺  
2021年(令和3年)

5月号  
VOL.331

## ◆◆ コロナ禍の花祭り ◆◆

順慶寺では、毎年、お釈迦様の誕生日である、花祭りをタケノコ掘りをする日に実施している。昨年は、コロナ禍の緊急事態の中で、実施すらできなかったが、今年は、境内で花御堂を出してお祝いした。ただ、恒例の甘茶かけは実施見送りとなった。

### ◇ あら探して心が汚れる ◇

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』（法句

経）より、

「他人のあらを探し

つねに批難しようとする人は

心の汚れが増大し

心の汚れを

消すことができない」（二五三偈）

から引用しました。

私たちは、人の行動やふるまいはよく観察し、批評します。しかし、その度に心の汚れが増大していると、釈尊は教えて下さいます。この言葉を聞かせていただくと、思わずハッと自身を反省させられます。

昨今のコロナ禍では、日々の生活に自粛や制限がかかり、どうしてもプラスの考えがでず、マイナスの考えにおちいりがちになります。こうした心持ちのとき、私たちのためにとられた行動、例えば、緊急事態宣言発令やコロナに対する医療行為などにも、ついあら探しをしてしまい、クレームをつけてしま



## 今月のブツダの言葉

人のあら探しをするほど

心の汚れは増大する



### 若院のテーマカット NO.25



います。

あら探しをする理由として、人と比べて優越感を持ち安心したいから、自分に自信がないから、ストレスを発散させたいから、など様々な理由があるとされます。おそらく、こうした行動をとるのは、今自分自身が幸せな思いをなすことができず、他のマイナス面ばかりを見て、自分が楽になりたいと思う気持ちが増えているのではないのでしょうか。いずれにしても、あら探しをすることは、自身の心に垢をためて、汚れていることを忘れないようにしなくてはなりません。

◇心の内を見出す智慧◇

「人の悪ろき事はよくよく見ゆるなり。我が身の悪ろき事は覚えざるものなり」(『蓮如上人御一代記聞書』)  
仏教では、自分を中心にして思考するときの心の働きを煩惱といいま

す。もう少し専門的にいうと、心身を乱し悩ませ、智慧を妨げる心の働きのことです。  
好き嫌い、損得、良し悪し、…、これらはみな、自分中心に心の働きがなされるため、それまであった調和が乱され、乱された状態から行動を起こすと、やがて苦がやってくる。人と比べたり、欲を深めたりして、心の奥底から次から次へ湧いてくるのが煩惱で、これを断ち切らない限り、苦悩はなくなることはないと思えるのが仏教です。

①【蓮如上人御一代記聞書】

本願寺第八代蓮如上人の御一代における法語や訓誡および上人の行動などを収録し、さらに蓮如・実如向上人に関する人々の言動も記録されたもの。すべて簡条書きになっていて、三―四条を収めている。  
内容は、真宗の教義、倫理、生活儀礼など多岐にわたり、故実や多くの人物の動静によって、懇切に興味深く記されている。もっとも、全体

ある仏教書に、仏像の目が大きく見ひらいていないのは何故か、という問いがありました。  
おそらく、私たちは、人の世のことをよく知るために、大きな目を見ひらいていなくてはならないのが当然でしょう。しかし、仏様は、<sup>②</sup>観

見二眼と呼ばれる眼のすがたをしておられ、自分の外を見出す眼力と、心の内を観察する眼力の両方を持つておられるので、半分だけ開いておられると言うのです。  
私たちは、日常から外のことばかりに目を見開き、心を乱され、日々苦悩を増やしています。それでも智慧を求めることもなく、日々ワガママな生活を続けています。  
そんな私たちにも、いつか智慧を得るようにと、阿弥陀様がやさしくお心をかけ続けて下さいます。

②【観見眼】

を通して主題となっているのは、信心獲得することがいかに大切であるかにつきるといってよい。(WIKIからより)  
宮本武蔵の『五輪書』には、「眼の付け様は、大きに広く付るなり。観見の二つあり、観の目よく、見の目よく、遠き所を近く見、近き所を遠く見る、兵法の専なり」とある。これは、もともと仏教から出た言葉とされているが出典ははっきりしない。

念仏を欲ぶ人  
**妙好人の世界**  
[第104回]  
《味おうてくれ》  
ものだねきちべえ  
**物種 吉兵衛**  
(12)

《西方寺様に導かれる》

堺の妙好人・吉兵衛。生涯の師・西方寺・元明氏に出遇ってからは、ひとえに元明氏に付き従ったといえます。『吉兵衛語録』には、「経典に口なし、仏像もの言わず、人をもってこれを言わしむ。字になつたら字や、絵になつたら絵や、生きて物を言つて下さる方に遇わなければかなわんデ」と、折々に元明氏のそばに行き、元明氏に教えを請うたといっています。吉兵衛の元明氏への傾倒ぶりを示

す一つのエピソードがあります。あるとき、吉兵衛が、いつも聞き

の強さで、同行と信心についての意見の食い違いができました。いてもたってもおられず、一目散に元明氏のお寺に駆け込み、ご示談をいただこうとしました。ところが、あいにく元明氏は、京都の本山に出かけて留守。それを聞くなり、早速数十キロ先の京都まで駆けて行き、元明氏の定宿を尋ねました。しかし、元明氏は宿にはおられず、その足で、本山まで出向くと、お白砂のところまでバツタリと元明氏に会うことができませんでした。その後、宿に戻って心ゆくまで仏法聴聞したといっています。  
そのとき、その様子を見ていた人は、「あのときの吉兵衛さんの顔は鬼気迫るものがあり、えらい勇み足であつた」と振り返っています。

《第十三回 仏教を漢字で学ぼう》

私たちがよく読誦する『仏説阿弥陀経』はベトナムでも同じ発音でよまれているそうです。  
しかし現在のベトナム人は漢字を使っていないため、お経はよめても、その言葉の意味までは分からないそうです。  
例えば阿弥陀経冒頭の一節「如是我聞」は「我かくのごとく聞きたまひき」と何となく日本語で理解できます。  
仏教を学ぶ身として、漢字を継承してきた日本人がいかに恵まれた環境にあるかというのを気づかされました。

お寺とともに

街の灯の下で

先日、境内でお掃除をしていると、お墓参りに来られていたご婦人が、  
「今日は呼ばれて来ました」と、にこやかに話をしてくださ

いました。おそらくは先立たれた故人に心の中で呼ばれてお墓参り。さすが、ご家族でいらつしやるなあと感心しておりました。ところが、そのご婦人がお墓参りをされたのち、帰り際に、  
「お陰様で心が軽くなりました。何しろ悩みが多くて」とつぶやいていかれました。いつもにこやかで、およそ悩みとは無縁な方だと勝手に思っておりましたので、少し動揺してしまいました。そのとき、昔読んだ小説で、夕刻にあちこち灯る街の灯りを眺めた主人公が、  
「この灯りの下で、悩みや苦しみのない者があるうか。誰一人としておるまい」と話していた一節が頭に浮かび、しばし感慨に耽りました。



# 令和三年度蓮師会が勤められる

## コロナのため急遽法話と総会を自粛

さる四月二十三、二十四日の両日、絶好の天気の中、順慶寺の二大法要の一つ、蓮師会が勤められ、有縁の皆さんが法要に参詣されました。

昨年、新型コロナウイルスの緊急事態宣言により、役員のみのお勤めとなった、蓮如上人の御命日のお勤めである蓮師会。本年は、お斎と午後の法要を自粛して、午前のみ日程ではありますが、通常のお勤めをすることにしております。

ところが、直前になって、昨今の新型コロナウイルスの蔓延に伴って、近隣地域で感染が広がり、多くの方が利用する施設でクラスターが

発生したことが確認されたため、急遽、責役四役会を招集し、午前中も法話と護寺会総会を自粛することが決定しました。

### 短縮したお勤めと役員挨拶

法要の準備は、関係のみなさんで、おみがき、仏華、打敷などのお荘厳を簡略化することなく、すべて通常の形で行いました。

両日の法要では、コロナ対策として、参詣者全員にマスクの着用と、手指のアルコール消毒をお願いし、また、法要の時間を短くするため、お勤めを、正信偈(草四句目下)に三首の和讃をあげる形としました。

今回の法要では、直前に法話と総会の自粛を通知するハガキを護寺会員全員に送付したため、多くの皆さんが参詣を遠慮され、本堂や玄関などに配置された参詣席も空席が目立つこととなりました。

両日も、お勤め終了後、住職から蓮如上人のご遺徳と順慶寺における蓮師会の歴史についての短い話があり、続いて、責任役員と護寺会長から挨拶の後、最後に参詣者全員で恩徳讃を斉唱して終わりました。

## 蓮師会写真館



本堂のお荘厳 (岡川経康氏撮影)



大活躍の役員の方々 (岡川経康氏撮影)

## タケノコ掘り点描



相木国男氏竹林にて (4月11日、岡川経康氏撮影)

### 4月度護寺会物故者

釋尼妙達

4月9日寂 酒井たつ子(71)

一里山町 酒井昭夫様の妻

光融院釋良観

4月14日寂 清水良一(74)

平松組 清水紀博様の父

清顕院釋尼妙鶴

4月12日寂 都築千鶴子(82)

来迎寺組 都築万喜夫様の妻

釋幸立

4月16日寂 神谷幸児(65)

(高畑組) 神谷文理様の父

## 編集部短信

◆タケノコ掘りに延べ九十人ーさる四月十一日、二十二日の両日、責役の相木国男氏所有の竹林にて、タケノコ掘りを実施。十一日には、花祭りも実施し、屋外の行事とあって、久しぶりに大勢の皆さんが集まった。

◆助音練習実施ーさる四月十九日、二十一日の両日、蓮師会を前に、安藤誠也先生を迎え、少人数で一年ぶりの助音練習を実施。

◆本堂に除菌清浄機ー蓮師会を前に、新型コロナウイルス対策として、本堂に除菌空気清浄機を二台導入。八十畳がウイルス対策の守備範囲となった。

◆江戸期の筆子塚の調査完了ー泉田郷土研究会により、順慶寺墓地にある、江戸時代の寺子屋師匠のお墓(筆子塚)の調査が完了。四月に担当の塚崎千歳氏により、刈谷郷土研究会で発表された。

## 編集雑記

今年、半分自粛となった蓮師会でしたが、準備だけは例年通り行いました。蓮師会は、宗祖、蓮師とお二人のお敬いをするので、お飾りは一年で一番にぎやかになります。花立ても大変で、今年特別に総代さんが助っ人に入って、和やかにお花立てをしてくださいました。お花立ての空気はいつも明るく楽しいもので、総代さんも楽しそうで、自粛ムードの中で清涼剤となりました(住)。

四月になり同朋大学四年生としての生活がスタートしました。あわや昨年同様の緊急事態宣言発令かと心配されるこの時期ですが、今のところ対面授業も実施され、問題なく大学生活を送らせてもらっています。コロナに振り回されることなくこの一年を過ごしていけたらと思います(若)。



# 5月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	土		
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木		木-1
7	金		
8	土		
9	日		
10	月		
11	火	前住職一周忌法要	
12	水		
13	木		木-2
14	金		
15	土		
16	日		
17	月		
18	火		
19	水	教化検討委員会(14:00、順慶寺)	
20	木		木-3
21	金		
22	土		
23	日		
24	月		
25	火		
26	水		
27	木		木-4
28	金	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺にて内勤め)	
29	土		
30	日		
31	月		

## 5月行事内容 詳細

### 前住職一周忌(近親者のみ)

5月11日(火)

順慶寺にて

昨年五月十七日に逝去した、順慶寺前住職・池浦良裕の一周忌を親族、責役四役にてお勤めいたします。大切な一周忌のご縁ですが、コロナ禍の中ですので、一周忌は近親者でお勤めをさせていただきます。予定にしております。ただし、コロナが終息しましたら、三回忌以降は、できるだけ多くの御門徒の皆様にご縁のあるように心がけます。

### 教化検討委員会(第二回)

5月19日(水)

午後2時、順慶寺本堂

順慶寺の例会などコロナ後の教化事業において、様々な検討を加える教化検討委員会の第二回目が開催されます。今回から、議長を教化委員長・岡本博和氏、司会を教化副委員長・鬼頭武久氏に担っていただき、様々な課題について議論をしていきます。第二回は、各賛助会における問題点について、検討委員の皆様から発議していただきます。

## お知らせ

### ●護寺会費のお集めについて

昨年、緊急事態宣言は発令されたことから、護寺会総会は自粛させていただき、護寺会費のお集めも控えさせていただきました。

本年は、総会自体は、自粛させていただきます。総会資料を皆様のお手元に配布することとし、五月中旬より護寺会費等のお集めを開始させていただきます。よろしくお願いいたします。

### ●本年二十一組内の講座について

昨年に続き本年も、岡崎教区二十一組の諸活動は、新型コロナウイルスの關係で、三密を避ける理由から、左記の通り多くの講座が自粛となります。よろしくお祈りいたします。

記

- ① 同朋講座(全二回) 自粛
- ② 門徒会研修 自粛
- ③ 富士松真宗教団夏期講座 自粛

以上

### じゅんこのときめき歳時記

## ミズバショウ

みなさん、こんにちは。今月から京都からテレワークでお邪魔しています。

今年は、暖かいせいか、お花が早く咲いていますね。桜の花も早かったし、藤の花や阜月なんかもみんな早い感じですよ。

「小夏が来れば思い出す」とは、水芭蕉の花。有名な尾瀬では、六月上旬に咲くらしいですが、場所によっては、四月くらいに咲くところもあると聞きます。今年は、尾瀬でも早いかも知れませんね。

ちなみに、バナナの仲間、背の高い木に芭蕉という木があるそうです。

が、湿地に芭蕉に似た植物が群生するので、水芭蕉というのだそうです。水芭蕉の花は、仏像の背景にある炎形の飾りのように見える部分(仏炎苞)ではなく、中心部の黄色いところを言うそうです。

まづ花が 葉を従へて 水芭蕉 猪子青芽

